

安全データシート

作成日 2018年 1月31日
改訂日 年 月 日 1/4頁

SDS No. 1022-21100

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Surfasil™
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1022-21100
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1022-21100
推奨用途及び使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 : 区分4
金属腐食性物質 : 区分1
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1B
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 引火性液体
金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

[安全対策]

: 炎及び高温のものから遠ざけること。
吸入しないこと。

取り扱い後は手を良く洗うこと。

保護手袋、保護めがね、保護面、保護衣を着用すること。

[応急措置]

: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

直ちに医師に連絡すること。

流出したものを吸収すること。

[保管]

: 換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

[廃棄]

: 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

上記で記載がない危険有害性は分類できない、分類対象外または区分外。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : 1,7-ジクロロ-1,1,3,3,5,5,7,7-オクタメチルテトラシロキサン
別名 : Surfasil™
含有率 : 98-100%
化学式 : C₈H₂₄Cl₂O₃Si₄

官報公示整理番号	: 化審法：7-472 安衛法：公表化学物質
CAS RN®	: 2474-02-4
4 応急措置	
吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受けること。 新鮮な空気のある場所に移動し、安静保温に努める。気分が悪い場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 石鹼と大量の水で洗い流す。刺激が直らない場合、炎症を生じた場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 直ちに、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で眼を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、大量の水で薄めて、直ちに医師の手当てを受ける。 無理に吐かせないこと。
暴露した場合	: 医師に連絡すること。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
5 火災時の措置	
消火剤	: 泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火を行う者の保護	: 燃焼又は高温により有害なガスが発生するので、呼吸保護具を着用する。
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和	: 適切な保護具をつけて処理すること。土砂・吸着剤などに吸着させて取り除くか、またはある程度水で徐々に希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。
7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。
衛生対策	: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、換気の良い場所で密閉して保管する。
避けるべき保管条件	: 湿気
技術的対策	: 不活性ガスを充填する。
混触危険物質	: 水、酸化剤
安全な容器包装材料	: ガラス

8 ばく露防止措置

設備対策	: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない
ACGIH TLV-TWA	: 設定されていない
OSHA PEL-TWA	: 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣・保護長靴
適切な衛生対策	: マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: -62℃
沸点	: 222℃
引火点	: 87℃
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: 18kPa(135mmHg)
蒸気密度(空気=1)	: 1.45
比重	: 1.01
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: データなし
<i>n</i> -オクタノール/水分配係数	
log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10 安定性及び反応性

化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 水との接触により分解し、有毒なガスを発生する。
避けるべき条件	: 裸火、湿気
混触危険物質	: 水、酸化剤、塩基
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、ケイ素化合物
推奨用途及び使用上の制限	: 試験・研究用

11 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性	
又は眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2 環境影響情報	
水性環境有害性(急性)	: データなし
水性環境有害性(長期間)	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はオゾン層破壊物質に該当しない。

1 3 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4 輸送上の注意	
国連番号	: 2987
品名	: Chlorosilanes, corrosive, n. o. s.
国連分類	: 8 (腐食性物質)
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う

1 5 適用法令	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化管法	: 非該当
化審法	: 既存化学物質
消防法	: 第4類 引火性液体 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性
船舶安全法(危規則)	: 危規則第3条危険物告示別表第1 腐食性物質
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1 腐食性物質
海洋汚染防止法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 非該当

1 6 その他の情報	
引用文献等	
化学品安全管理データブック、化学工業日報社 16514の化学商品、化学工業日報社 (2014) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) 航空危険物規則書 第52版邦訳 等・他	

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。